

天文 12

「夏の星座と天体：番外編」

天文担当 片野田 裕亮

夏の夜空を見上げると、天の川を中心に、夏の
大三角やさそり座など、多くの星座や天体を見る
ことができます。

今回は、プラネタリウム夏編の番組内で紹介し
きれなかった星座や天体について紹介します。

■ てんびん座

春の代表的な星座である「おとめ座」と、夏の
代表的な星座である「さそり座」の間にある星座
です。黄道十二星座としても知られています。ギリ
シャ神話では、正義の神であるアストレイアが
持つ「善悪をはかる天秤」とされ、世界的にも司
法関係機関の象徴となっています。



さそり座とてんびん座

これらの星の並びがてんびん座となったのは、
およそ2000年前のローマ期となつてからのよう
で、それ以前は、さそり座の一部
だったと言われています。その名残でてんびん座
を形作る星のうち、α星は“ズベン・エル・ゲヌ
ブ”（南のツメ）、β星には“ズベン・エス・カマ
リ”（北のツメ）という名が残されています。

■ へびつかい座・へび座

2等星であるラスアルハ
ゲを頂点とし、将棋の駒
のような星の並びが、へび
つかい座です。
絵ではへびを



へびつかい座と周辺の星座

両手でつかんだ姿で描かれますが、このへびは別

の星座であるへび座となっています。へびつかい
座は、ギリシャ神話において、名医アスクレピオ
スとされています。

へび座の尾の
部分には、散開
星団と散開星雲
が重なったM16
があります。こ
の散開星雲は、
「わし星雲」と
呼ばれます。星



M16 (わし星雲)

雲の中心部の暗黒部分には、ガスと塵からなる
「創造の柱」と呼ばれる濃い分子雲があります。
ここでは、新しい星が次々と生まれています。

■ りゅう座

北斗七星を含
む「おおぐま座」
と、北極星を含
む「こぐま座」
の間を縫うよう
に配置される星
座です。この星
座のα星である



りゅう座と周辺の星座

“ツォバン”は、紀元前2790年に天の北極に最も
近くなり、その前後数世紀（古代メソポタミアや
古代エジプトなどの世界最古の文明が栄えた頃）
は、「北極星」として重要な星でした。現在の北極
星は、こぐま座のポラリスですが、約12,000年後
には、こと座の“ベガ”が北極星となります。

夏の夜空を見上げると、今回紹介した星座や天
体以外にも、さまざまな星座や天体、ペルセウス
座流星群などの天文現象を見ることができます。
今年の夏は、裏面の星図を参考にしながら、星空
観察を楽しんでみませんか。

夏の星座

北

～使い方～

空にかかげて方角を
あわせて使いましょう。

